

音楽科学習指導案

指導者 久都内 美嵯子

- 1 日時 令和2年9月30日(水) 4校時
- 2 学級 1学年 男子4名 女子11名
- 3 題材名 「合唱の響きを味わい、思いや意図をもって表現を工夫しながら歌おう」
～混声3部合唱「My Own Road」～

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、混声三部合唱曲「My Own Road」を教材とした表現の学習を行う題材である。学習指導要領(平成29年度告示)の次の事項を指導するために設定した。

第1学年2内容 A表現

(1) 歌唱の活動の内容を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。
- イ (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。
- ウ (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けること。

「My Own Road」は、混声3部合唱で自分の未来、夢に向かって一歩ずつ強く突き進んでいこうという歌詞の内容になっている。中学校生活を半年間過ごしてきた中で、これからの自分の人生や将来について考えさせられる内容となっている。また曲想からは、音は取りやすく比較的簡単な曲ではあるが、アップテンポならではのビートが感じられるリズム感や、強弱や曲想の変化を味わいながら歌うことができる曲となっている。

(2) 生徒観

1学年は15人中、男子4名、女子11名と女子が半数を超えている。また男子については歌声が小さく、歌うことに苦手意識を持っている生徒が多い。女子は、比較的大きな歌声を出しながら意欲的に歌っている生徒が多い。しかし、合唱にふさわしい歌い方や、周りの声を聴きながら歌うことに課題がある。また、歌詞の内容や声部の役割は理解しているものの、それが音楽の諸要素とどのように結びついているのかを理解したり、思いや意図と関わらせて、イメージを豊かにしたりしながら自分たちの音楽表現を工夫するまでには至っていない。

(3) 指導観

本題材では、強弱や音色、テクスチャなどの音楽を形作っている要素による曲想の変化に気づかせたい。また、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えさせたい。例えば、出だしの部分と□Cの曲想の違いでは、強弱の変化やアルト、男声が□Cから伸ばしが出てきたことで、ゆったりした感じがする。それによって、伸びやかで出だしとは違う柔らかい感じを表現することができる。音楽の雰囲気と音楽の構造を関わらせた表現をする学習を多く取り入れていきたい。

また1学年は女子の人数がとても多いため、男声主旋律の部分では、どうしても聴こえにくいいため、女声の中から数名その部分を歌ってもらいながら進める。

5 単元の目標

- 「My Own Road」の声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組む。
- 「My Own Road」音楽を形作っている要素（強弱・音色・旋律・テクスチュア）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って、音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。
- 「My Own Road」歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な言葉の発音や身体の使い方を身に付けて歌うとともに、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能（言葉の発音・身体の使い方）を身に付けて歌う。

6 単元の評価規準（各教科の評価規準に基づいて）

ア. 音楽への関心・意欲・態度	イ. 音楽表現の創意工夫	ウ. 音楽表現の技能
①「My Own Road」の声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①「My Own Road」の音楽を形作っている要素（強弱・音色・旋律・テクスチュア）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している ②声部の役割や全体の響きを感じ取って、音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能（言葉の発音・身体の使い方）を身に付けて歌っている。 ②「My Own Road」声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能（言葉の発音・身体の使い方）を身に付けて歌っている。

7 指導計画 (全7時間) 本時 (4/7)

本単元で身に付ける(働かせる) 見方・考え方		・「My Own Road」の曲想で感じられる生き生きした感じと、それを引き立たせている対照的な曲想を感じながら、音楽の構造や歌詞と関連づけて考える。				
時	学習内容	評 価				
		関	思	技	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 題材のもつねらいや意義について考え、自分たちの目指す「My Own Road」のイメージをもつ。 歌詞を読んだり、音源を聴いたりして、歌詞の内容や曲想について感じ取った印象などを話し合い、全体で共有する。 	○			「My Own Road」の声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。(ア①)	ワークシート 観察
2 3 4 本時 5	<ul style="list-style-type: none"> パートごとでの音取りをしながら、パート内、全体合唱で音楽表現を考え、工夫して歌う。 お互いのパートについて感心をもち、どのような響きになっているのか考えながら歌う。 	○	◎		<p>声部の役割や全体の響きを感じ取って、音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。(イ②)</p> <p>「My Own Road」の声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能(言葉の発音・身体の使い方)を身に付けて歌っている。(ウ②)</p>	ワークシート 観察 発言
6 7	<ul style="list-style-type: none"> 「My Own Road」の音楽が形づくっている要素の知覚・感受を深めるとともに、声部の役割と全体の響きについてのかかわりを追究する。 	◎	○		<p>「My Own Road」の音楽を形作っている要素(強弱・音色・旋律・テクスチャ)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている(イ①)</p> <p>歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能(言葉の発音・身体の使い方)を身に付けて歌っている。(ウ①)</p>	観察 発言

8 本時の展開

(1) 目標 「My Own Road」のサビに隠された魅力を考えながら、工夫して歌う。

(2) 学習の主な流れ(例)

時間	学習活動 ○予想される生徒の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (方法)
8	1 発声練習をし、声の出し方、言葉の発音の仕方について意識しながら歌う。	◇発声時から表情や、姿勢について気を付けさせる。	
5	2 本時の目標を確認する。 「My Own Road」のサビに隠された魅力を考えながら、工夫して歌おう。」		
10	3 課題に向けての見通しをもつ。 ・パートごとに、サビ部分の曲想と音楽の構造のかかわりについて考える。	◆曲想を感じ取りにくい生徒には、生徒一人ひとりに渡している<感じシート>を参考にさせ、曲想に合う言葉を選ばせる。	
20	4 考えたことを発表し、実際に歌いながら試行錯誤する。 ・パートごとに分かれ、サビの部分で感じたことと聞き取ったことを拡大した楽譜に書き込んでいく。 ○「生き生きとした感じがある。それは、旋律の中に跳ぶところがあったり、リズムが跳ねている部分があるから」 ○「前向きで堂々とした感じ。サビの後半の旋律では音がだんだん上がっているから。」	◇パートリーダーから考えを発表させ、生徒主体で試行錯誤していく時間にしていく。 ◇工夫した後の合唱と聴き比べをさせる。その際、違いを多くの生徒から発言させる。	「My Own Road」の音色、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
5	5 振り返り ・めあてに対してできたこと、できなかったことを書く。 ・次回の授業に向けて、ほかにどんなことを考えながら歌っていきたいかを書く。	◇個人、パート、全体合唱でそれぞれできていたこと改善が必要なこと、次回に向けて取り組んでいくことなどを書かせる。	